

フィリピン新型コロナウイルス感染症救援プロジェクト コミュニティ・キッチン&ガーデニング



「自ら食をつくり、支え合う」を支える 漁村の女性たちのアクションを応援してください！

2013年台風ヨランダで被災したフィリピンの2つの漁村では、新型コロナウイルスの影響で困窮している中、住民アソシエーションのメンバーたちが自ら支え合うための新しいアクションを始めようとしています。

自分たちで食事を作り他のメンバーに提供する「コミュニティ・キッチン」と、自ら菜園を作り作物を育てる「コミュニティ・ガーデニング」。メンバー同士の持続的な支え合いのために、ぜひご寄付のご協力をお願いいたします。

募集期間


2020年
10/1~11/30

目標金額

40万円
1口 2,000円
(何口でも可)

1口で...

2食分の食事と、1家族分の
菜園作りの材料が提供できます！

詳細は裏面へ 

お問合せ

CODE海外災害援助市民センター
〒652-0801 神戸市兵庫区中道通2-1-10
TEL: 078-578-7744 FAX: 078-574-0702
Email: info@code-jp.org



Facebook.CODE



Twitter.CODE

CODE

コロナ禍でのサンタフェ町の漁村のいま

CODEが2013年台風ヨランダ救援プロジェクトを行ったバンタヤン島のサンタフェ町は、観光が主要産業です。コロナ禍のロックダウンで閉鎖されていた観光業は7月に再開しましたが、未だ観光客はほぼいません。

CODEが支援している漁師たちは、漁業は継続できているものの、観光客がいないために供給先のレストランやリゾート、市場が影響を受けており、魚の価格も下落しています。また、季節的な天候不良で漁獲量が減っていることや、漁業以外の収入源が絶たれていることで、経済的に非常に厳しい状況です。



短期・長期的に食をつくり出すプロジェクト

持続的な食を住民たち自らで支え合うために「コミュニティ・キッチン&ガーデニング」のプロジェクトを立ち上げます。コミュニティ・キッチンでは、漁村の住民アソシエーション内でボランティアを募り、献立決めや買い出し、調理を行い、他のメンバーに食事を提供します。メンバー間の食事の家計を支えます。

コミュニティ・ガーデニングでは、メンバーたちが自宅裏で小規模な菜園を作り、ナスやゴーヤなどの有機栽培を行います。地域内にはすでにガーデニングを行っている人もおり、やり方を教え合いながら他のメンバーにも展開することが期待されます。



支援される側からする側へ、支え合い

コロナ禍においてこれまで地域では、自治体からの給付金や、米などの物資提供といった、緊急的にモノを与える支援が行われ、アソシエーションのメンバーも、このような救援物資で支援してもらうことが一般的だととらえていました。

今回のプロジェクトでは、アソシエーションのメンバーが自ら食をつくり出してメンバーに提供したり、野菜作りを教え合ったりします。自分たちにもできることがあるということ、メンバーがメンバーを支え合う意識を持つということが期待されます。



ご寄付の方法

※1口 2,000円（何口でも可）
通信欄に「フィリピン」とご記入ください。

■ 銀行振込

ゆうちょ銀行

支店名：〇九九店
（ゼロキュウキュウ）
支店番号：099
口座番号：0330579（当座）
口座名義：CODE

近畿労働金庫

支店名：神戸支店
支店番号：642
口座番号：8881040（普通）
口座名義：CODE海外災害
援助市民センター

■ 郵便振替

口座記号番号：00930-0-330579
加入者名：CODE

■ クレジットカード

CODEのHPよりご寄付いただけます
<http://www.code-jp.org/cooperation/index.html>

